

1. 基本事項

事務事業名	水道施設建設改良事業			事務事業コード	424-101-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	伊藤重勝
	施策名	4	安全な水道水の安定供給	内線	357
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠	水道法、地方公営企業法				
条例・要綱等	新庄市水道事業の設置に関する条例				
予算・事務事業名	企業会計	1款1項1目	給配水設備工事業	予算コード	
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めの無い事業)				

2. 事務事業の概要

目的	老朽化した水道施設を計画的に更新し、安心安全な水道を安定供給する。	事業内容	耐震化計画やアセットマネジメントを精査し重要施設の長寿命化や更新を計画的に実施する。 また、災害等のリスクを考慮し計画を随時見直しする。		
対象	給水区域内の水道施設				
目指す状態	計画的に建設改良事業を実施することにより、安心安全な水道を安定供給する。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	水道の供給施設	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込																																							
	説明(算式等)	水道管路延長(千m)	実績	383.6	384.3	385	385	385	398																																								
活動指標	指標名称	老朽管更新延長(m)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画																																							
	説明(算式等)		実績	1,970	453	748	748	290	516																																								
成果指標	指標名称	有効水量比率(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標																																							
	説明(算式等)	(総配水量-無効水量)÷総配水量*100	実績	87	86.5	86.4	87	87	86.5	88.3																																							
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																																
	給水人口と普及率 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給水人口(人)</td> <td>35,342</td> <td>35,235</td> <td>35,017</td> <td>34,809</td> <td>34,418</td> <td>34,170</td> <td>33,919</td> <td>34,018</td> <td>33,625</td> </tr> <tr> <td>普及率(%)</td> <td>91.5</td> <td>92.0</td> <td>92.7</td> <td>93.1</td> <td>93.4</td> <td>93.7</td> <td>94.1</td> <td>94.4</td> <td>96.0</td> </tr> <tr> <td>給水量(千m³)</td> <td>3,217</td> <td>3,275</td> <td>3,239</td> <td>3,229</td> <td>3,204</td> <td>3,183</td> <td>3,232</td> <td>3,268</td> <td>3,212</td> </tr> </tbody> </table>										年度	23	24	25	26	27	28	29	30	1	給水人口(人)	35,342	35,235	35,017	34,809	34,418	34,170	33,919	34,018	33,625	普及率(%)	91.5	92.0	92.7	93.1	93.4	93.7	94.1	94.4	96.0	給水量(千m ³)	3,217	3,275	3,239	3,229	3,204	3,183	3,232	3,268
年度	23	24	25	26	27	28	29	30	1																																								
給水人口(人)	35,342	35,235	35,017	34,809	34,418	34,170	33,919	34,018	33,625																																								
普及率(%)	91.5	92.0	92.7	93.1	93.4	93.7	94.1	94.4	96.0																																								
給水量(千m ³)	3,217	3,275	3,239	3,229	3,204	3,183	3,232	3,268	3,212																																								
成果(どのような状態になったか)	水道施設の更新により、漏水等による断水被害を抑制し安定給水を行うことができた。																																																

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	404,521	476,700	297,022	289,424	187,539	168,784	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金	120,723	118,054	78,563	65,616	35,500	12,016	国庫補助金	12,016
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財	87,710	53,158	45,305	12,082				
	一般財源	196,088	305,488	173,154	211,726	152,039	156,768	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	7,418	7,418	7,354	9,092	8,786	8,947	工事請負費	138,634	
内訳	正規職員(人)	0.95	0.95	0.95	1.15	1.15	1.15	委託料	8,979
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	411,939	312,906	180,508	220,818	160,825	165,715			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	水道施設の安全性の確保や重要施設等への安定した給水が確保できた。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	耐震化や老朽化した水道施設の膨大な更新費を平準化し計画的に実施できる。
有効性	③成果の向上余地がない か	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	継続的に粛々と実施することで現状を最低限維持できる。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	すでに法的耐用年数を超えた施設があり、これ以上の長寿命化は将来に負担を先送りするだけである。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	これ以上の人員削減で安心安全な水の供給は出来ない
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	広域連携について、県を中心に検討中
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	● なっていない ○ なっている	最低限ライフラインの維持と安心安全な水の安定供給が必要であり、地域の 実情に合わせることは難しい。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H1実績評価)
市民のライフラインと水質の安全を守るため、給水収益の減収で経営が厳しい中、老朽化した施設を順次更新する必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

中長期的な需要予測や策定済の計画に基づき取り組んでいるが、災害や関連工事等で計画通り実施できない場合があるため、随時状況に応じて柔軟に見直しを行って行きたい。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H1実績評価)
策定済の耐震化計画とアセットマネジメントに則り、事業費を平準化し計画的に実施する。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)				
所属長評価	H30年度の主要事業は、ほぼ計画どおり完了したが、管路の耐震化(更新)は進んでいない状況である。今後は耐震化計画を策定し、重要度、優先度を考慮しながら事業の推進を図っていきたい。	所属長評価	R1年度については、概ね計画とおり実施されたが、今後は財源の確保が難しくなる事も考えられるので、計画の見直しを行いながら着実に事業を実施することが重要となってくる。			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止			

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	水道事業計画策定・進行管理事務			事務事業コード	424-103-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	伊藤重勝
	施策名	4	安全な水道水の安定供給	内線	353
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input checked="" type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	水道法、地方公営企業法				
条例・要綱等	新庄市水道事業の設置等に関する条例				
予算・事務事業名	企業会計	1款1項4目	業務及び総係費	予算コード	
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 42 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	水道事業計画に基づき健全経営、適正な維持管理、必要な施設整備を実施し、安心で安全な水道水を安定的に使用者へ供給する。	事業内容	水道を取り巻く環境が大きく変化していることで将来を見据えた独自のビジョンが必要なことから、既存の中長期的な事業計画や経営計画に基づき予算を編成し適正に執行する。決算の数値を基に経営分析を行い進行管理をする。		
対象	水道使用者。				
目指す状態	安定した財政基盤を確立し、健全で効率的・継続的な水道経営を実施する。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	給水人口(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	34,809	34,418	34,170	33,919	34,018	33,625	33,777
	説明(算式等)	見込値は水道事業基本計画(H28策定)による	達成率							
活動指標	指標名称	計画策定・進行管理回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	4	4	4	4	4	4	4
	説明(算式等)		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標	指標名称	経常収支比率(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	103	101	100	101	102	102	110
	説明(算式等)		達成率	93.6%	91.8%	90.9%	91.8%	92.7%	92.7%	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明) 平成23年4月策定した「新庄市水道ビジョン 2011~2020」が令和2年度までになっているため、新たに2年度中に策定する。 本ビジョンは、「水道事業の安定と持続により、安全で安心な水道水の安定供給と環境にやさしい水道を構築」するものであり、現状評価・課題、将来の事業環境、目標設定、実現方策等「安全」「強靱」「持続」の観点から課題解決のための施策を具体化する。									
成果(どのような状態になったか)	安心安全な水道を安定供給した。安定した財政基盤を確立するため、今後料金改定を含めて検討するとともに、他団体との広域化・広域連携についても並行して検討していくこととする。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	0	0	10,098	0	0	0	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	0	0	10,098	0	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	5,856	5,856	5,806	7,511	6,494	6,224			
内訳	正規職員(人)	0.75	0.75	0.75	0.95	0.85	0.80		
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	5,856	5,856	15,904	7,511	6,494	6,224			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

(DO) 実行

1. 基本事項

事務事業名	原水及び浄水事業			事務事業コード	424-201-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	伊藤重勝
	施策名	4	安全な水道水の安定供給	内線	357
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	水道法、地方公営企業法				
条例・要綱等	新庄市水道事業の設置等に関する条例				
予算・事務事業名	企業会計	1款1項1目	原水及び浄水事業	予算コード	
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	水質基準に適合した安心・安全な水道を安定供給する。	事業内容	原水を安定確保すると共に、浄水施設を適正に維持管理し、安全で安心な水道を安定供給する。		
対象	水道利用者・浄水施設				
目指す状態	安全で安心な水道を安定供給することにより公共の福祉を増進する。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	浄水施設(箇所)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込																		
			実績	4	4	4	4	4	4	6																		
			達成率																									
活動指標	指標名称	年間総配水量(千m ³)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画																		
			実績	3,837	3,807	3,782	3,839	3,882	3,812	3,900																		
			達成率	98.4%	97.6%	96.9%	98.4%	99.5%	97.7%																			
成果指標	指標名称	—	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標																		
			実績																									
			達成率																									
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																											
	「水質検査管理計画」に基づく水質検査 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>検査区分</th> <th>検査内容</th> <th>検査箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">浄水の水質検査</td> <td>毎日検査</td> <td>味、臭気、色度、濁度、PH値、残留塩素濃度</td> <td>末端蛇口 <small>市内7箇所</small></td> </tr> <tr> <td>毎月、年1回検査</td> <td>水道法に基づく項目について(51項目/年1回、9項目/月2回)</td> <td>末端蛇口 <small>水系毎</small></td> </tr> <tr> <td>年4回検査</td> <td>水質基準項目に定めたものについて(22項目)</td> <td>末端蛇口 <small>水系毎</small></td> </tr> <tr> <td>その他の検査(年1回)</td> <td>農薬(120項目)、耐塩素性病原微生物(2項目)</td> <td>末端蛇口</td> </tr> <tr> <td>原水の水質検査</td> <td>水質基準項目のうち消毒副生成物と味を除く40項目、クリプトスポリジウム等の病原性微生物等</td> <td>自己水</td> </tr> </tbody> </table>										検査区分	検査内容	検査箇所	浄水の水質検査	毎日検査	味、臭気、色度、濁度、PH値、残留塩素濃度	末端蛇口 <small>市内7箇所</small>	毎月、年1回検査	水道法に基づく項目について(51項目/年1回、9項目/月2回)	末端蛇口 <small>水系毎</small>	年4回検査	水質基準項目に定めたものについて(22項目)	末端蛇口 <small>水系毎</small>	その他の検査(年1回)	農薬(120項目)、耐塩素性病原微生物(2項目)	末端蛇口	原水の水質検査	水質基準項目のうち消毒副生成物と味を除く40項目、クリプトスポリジウム等の病原性微生物等
検査区分	検査内容	検査箇所																										
浄水の水質検査	毎日検査	味、臭気、色度、濁度、PH値、残留塩素濃度	末端蛇口 <small>市内7箇所</small>																									
	毎月、年1回検査	水道法に基づく項目について(51項目/年1回、9項目/月2回)	末端蛇口 <small>水系毎</small>																									
	年4回検査	水質基準項目に定めたものについて(22項目)	末端蛇口 <small>水系毎</small>																									
	その他の検査(年1回)	農薬(120項目)、耐塩素性病原微生物(2項目)	末端蛇口																									
原水の水質検査	水質基準項目のうち消毒副生成物と味を除く40項目、クリプトスポリジウム等の病原性微生物等	自己水																										
成果(どのような状態になったか)	水質基準に適合した水道水を安定供給した。																											

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	385,623	386,537	383,974	389,866	374,666	345,100	事業費の算出根拠(R1)		
内訳	国庫支出金						歳入の積算内訳		
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	385,623	386,537	383,974	389,866	374,666	345,100	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	5,075	5,075	5,032	5,806	5,730	7,780	委託料	7,339	
内訳	正規職員(人)	0.65	0.65	0.65	0.75	0.75	1.00	修繕費	14,499
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741	7,640	7,780	動力費	10,175
費用合計(①+②)	390,698	391,612	389,006	395,672	379,704	352,880	受水費	325,312	
臨時嘱託等(人)	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00			
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

1. 基本事項

事務事業名	配水及び給水事業			事務事業コード	424-202-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	伊藤重勝
	施策名	4	安全な水道水の安定供給	内線	357
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	水道法、地方公営企業法				
条例・要綱等	新庄市水道事業の設置等に関する条例				
予算・事務事業名	企業会計	1款1項2目	配水及び給水事業	予算コード	01-020101-0800
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	水質基準に適合した安心・安全な水道を安定供給する。	事業内容	定期的に水質検査、洗管を実施しながら、水質基準に適合した水道水を安定供給する。		
対象	水道利用者、給配水施設				
目指す状態	安全で安心な水道を安定供給する。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	給水人口(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	
			実績	34,809	34,418	34,170	33,919	33,474	33,625		32,553
説明(算式等)	まつづくり総合計画(人口フレーム)		達成率								
活動指標	指標名称	年間総有収水量(千m ³)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画	
			実績	3,229	3,204	3,183	3,232	3,268	3,212	3,300	
説明(算式等)			達成率	97.8%	97.1%	96.5%	97.9%	99.0%	97.3%		
成果指標	指標名称	—	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
			実績								
説明(算式等)			達成率								
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	目的別給水量 単位:千m ³										
	年度別	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	家庭用	2,328	2,304	2,324	2,288	2,265	2,265	2,264	2,289	2,305	2,299
	営業用	408	401	389	384	375	363	364	365	372	355
	団体用	515	500	548	553	573	560	544	567	577	545
その他	14	12	14	14	16	16	11	11	14	13	
計	3,265	3,217	3,275	3,239	3,229	3,204	3,183	3,232	3,268	3,212	
成果(どのような状態になったか)	水質基準に適合した水道水を安定供給した。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	38,374	38,965	35,868	39,012	58,714	58,680	事業費の算出根拠(R1)		
内訳	国庫支出金						歳入の積算内訳		
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	38,374	38,965	35,868	39,012	58,714	58,680	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	5,856	5,856	5,806	8,902	8,786	7,391	委託料	31,483	
内訳	正規職員(人)	0.75	0.75	0.75	1.15	1.15	0.95	修繕費	13,383
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	44,230	44,821	41,674	47,914	67,500	66,071			
臨時嘱託等(人)	0.80	0.80	0.80	0.00	0.00	0.00			
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

1. 基本事項

事務事業名	水道施設豪雨災害復旧事業			事務事業コード	424-203-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	伊藤重勝
	施策名	4	安全な水道水の安全供給	内線	357
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	水道法、地方公営企業法				
条例・要綱等	新庄市水道事業に関する条例				
予算・事務事業名	企業会計	1款1項1目	原水及び浄水事業	予算コード	
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度(繰越) (1年限りの事業)				
	<input checked="" type="radio"/> 期間限定 始期 H30 年度 ~ 終期 R1 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	水道施設の災害復旧	事業内容	平成30年8月5日の豪雨により畑地区で、地滑りが発生し送配水管が破断した。仮設管で対応していたが、本設工事を実施し布設替え工事を完了した。		
対象	畑地区の送配水管の仮設から本設工事				
目指す状態	原形復旧	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	被災箇所の原形復旧	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績							1
説明(算式等)	畑地区の送配水管布設他		達成率					50%	100%	
活動指標	指標名称		年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績							
説明(算式等)			達成率							
成果指標	指標名称		年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績							
説明(算式等)			達成率							
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	【事業概要】 ・本合海地区送配水管布設替工事 工期:平成31年10月17日~平成31年12月25日 請負金額:8,713,100円									
成果(どのような状態になったか)	安心安全な水道水を安定的に送れるようになった。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)	
事業費・・・①					14,993	8,713	事業費の算出根拠(R1)	
内訳	国庫支出金					4,500	補助金	4,745
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財					7,880		
	一般財源					14,993	3,750	主な歳出の内訳
人件費・・・②					1,910	1,945	工事請負費	8,713
内訳	正規職員(人)				0.25	0.25		
	1人当たり単価				7,640	7,780		
費用合計(①+②)					16,903	10,658		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	復旧事業が完了したため							

1. 基本事項

事務事業名	公共下水道処理場維持管理事業			事務事業コード	425-101-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	庄司誠二
	施策名	5	良好な水環境の保全	内線	334
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠	下水道法				
条例・要綱等	新庄市下水道条例、同条例施行規則				
予算・事務事業名	公共下水道事業特別会計	1款2項1目	処理場維持管理事業費	予算コード	05-010201-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 63 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	公共用水域の水質保全及び生活環境の改善。	事業内容	汚水状況に応じた汚水処理設備及び機器の適切な保守管理・運転の実施。		
対象	浄化センターの水処理等施設・設備及び機器。				
目指す状態	適正な汚水処理により快適な水環境を保持。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込												
				実績	5	5	5	5	5	5	5											
	浄化センターの主要施設数(棟)		達成率							5												
活動指標	定期点検回数(回)		年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画												
			実績	12	12	12	12	12	12	12												
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%												
成果指標	汚水浄化率(BOD除去率)(%)		年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標												
			実績	98.4	98.7	98.5	98.3	98.6	98.7	98												
			達成率	100.4%	100.7%	100.5%	100.3%	100.6%	100.7%													
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																					
	浄化センターの処理概要(R1) 《汚水処理》 処理方式 標準活性汚泥法 現有処理能力 12,000 m ³ /日 年間流入汚水量 2,325 千 m ³ /年 日平均流入汚水量 6,370 m ³ /日 日最大流入汚水量 11,150 m ³ /日(R1. 10. 13)																					
	《汚泥処理》 年間汚泥排出量 1765.02 t/年 日平均汚泥排出量 4.84 t/日 含水率 78.0 %																					
	《処理水質》 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>流入水</th> <th>放流水</th> <th>除去率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SS (浮遊物質質量)</td> <td>279.2 mg/ℓ</td> <td>4.3 mg/ℓ</td> <td>98.5%</td> </tr> <tr> <td>BOD (生物化学的酸素要求量)</td> <td>321.1 mg/ℓ</td> <td>4.1 mg/ℓ</td> <td>98.7%</td> </tr> </tbody> </table>										区 分	流入水	放流水	除去率	SS (浮遊物質質量)	279.2 mg/ℓ	4.3 mg/ℓ	98.5%	BOD (生物化学的酸素要求量)	321.1 mg/ℓ	4.1 mg/ℓ	98.7%
区 分	流入水	放流水	除去率																			
SS (浮遊物質質量)	279.2 mg/ℓ	4.3 mg/ℓ	98.5%																			
BOD (生物化学的酸素要求量)	321.1 mg/ℓ	4.1 mg/ℓ	98.7%																			
成果(どのような状態になったか)	適正な放流水質を維持することができた。																					

4. 投入資源

(単位:千円)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費 … ①	154,781	155,772	151,788	182,015	164,455	165,845	歳入の積算内訳		
内 訳	国庫支出金						受益者負担金(使用料)	154,596	
	県支出金						その他財源(圏域・浄化センター使用料)	7,719	
	受益者負担	154,781	155,772	151,788	182,015	160,338	一般財源	3,530	
	その他特財					4,117			
	一般財源	0	0	0	0	0	3,530		
							主な歳出の内訳		
人件費 … ②	2,577	2,577	2,555	2,214	2,139	2,956	消耗品費(脱臭剤・凝集剤等)	8,333	
内 訳	正規職員(人)	0.33	0.33	0.33	0.28	0.28	0.38	光熱水費	26,128
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	修繕料(機器修繕)	8,766
費用合計(①+②)	157,358	158,349	154,343	184,229	166,594	168,801	委託料(汚泥処理費)	40,718	
臨時嘱託等(人)							負担金(共同管理協議会委託)	80,120	
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	目的が「良好な水環境の保全」そのものである。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	公共下水道計画区域及びその処理区域を確立している。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	不明水の流入防止、基準外水質水流入防止対策を講じる必要がある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	施設の老朽化が著しく、計画的な修繕を必要とされており、事業費を削減することは困難である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	人員形態の改善の結果、最上圏域下水道共同管理協議会に管理委託している。これ以上の改善は困難である。は内
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	既に最上圏域下水道共同管理協議会に管理委託して、他の自治体と連携を図っている。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	事業自体が、官民共同にそぐわない。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	適正な維持管理画を行っており、放流水の水質基準も満たしている。今後は汚泥の有効活用率の向上が求められる。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H1実績評価)
浄化センターの改築工事も完了したが、新たな不具合箇所も多く発生しており、早期に次期ストックマネジメント計画を策定する必要がある。不明水の流入防止策については、管渠管理事業で行うことになるが、計画的な調査が必要とされている。山形県生活排水処理施設整備基本構想に基づき、汚泥の有効活用率の向上を図る。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

管渠清掃業務委託費を倍増し、管内の不明水の流入調査を実施し、併せて直営にて汚水柵点検を実施し不明水の流入防止に努める。汚泥の有効利用率向上については、受け入れ先の確保に努める。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H1実績評価)
スtockマネジメント計画による老朽化施設の計画的な改築更新事業を実施する。不明水の流入防止策についても、面的調査を拡大実施し、流入箇所の把握に努めると共に、流入防止策を講じる。汚泥の有効活用率の向上には、処理業者の選定と受入状況、処理コストを勘案し、向上を図る。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	不明水の流入防止、基準外水質水流入防止対策を実施しているが、エリア設定を行い面的調査と計画的な修繕計画を策定する必要がある。	所属長評価	下水道施設の改築工事は、H29～H33の計画が今年度完了したが、次期計画策定に向け、関係機関と調整を図る。不明水の流入防止策を計画的に実施する。汚泥の有効利用率の向上を図る。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

Table with project details including: 事務事業名 (Public Sewerage Maintenance), 基本目標 (Social life base is stable, safe and comfortable), 政策名 (Safety and security for living), 事業区分 (Independent project), 法令根拠 (Sewerage Law), 事業期間 (Fiscal year 2023).

2. 事務事業の概要

Summary table with columns: 目的 (Maintaining a good water environment), 対象 (Sewerage pipes, manholes), 目指す (Maintaining facility functions), 事業内容 (Pipe cleaning, pump maintenance), 実施形態 (Partially outsourced).

3. 実施状況

Performance table with columns: 対象指標 (Indicator), 年度 (Year), 実績 (Actual), 達成率 (Completion rate), R1, R2見込 (R2 forecast). Includes indicators for pipe length and safety checks.

補足説明 (Supplementary explanation) table with columns for years H26 to R1, containing text about fiscal year 2030 construction length and pipe length.

成果(どのような状態になったか) H23. 3. 11地震以降、特に舗装路面点検を重点に対応している。不明水対策はほとんど実施することができなかった。

4. 投入資源

(単位:千円)

Resource input table with columns: 年度 (Year), H26-H30, R1, 事業費の算出根拠 (R1), 歳入の積算内訳 (Breakdown of income), 主な歳出の内訳 (Breakdown of main expenses), 費用合計 (Total cost).

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	目的が『良好な水環境の保全』そのものである。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市全体の生活排水処理施設整備計画のうち、公共下水道計画区域及びその 処理区域を確立している。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	不明水の流入防止対策を講じる必要がある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	管路への不明水の流入防止対策を講じる必要があるが、現状では十分に実 施できていない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	適正な維持管理計画を策定し、不明水の流入防止対策について調査と修繕 を実施する必要がある。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	現段階では有効な共同管理等の方法がない。
	⑦官民協働できるか	○ できない不明浸入水の防止対策 ● できる	コンセンションなので民営化が可能であるが、新庄市の規模ではスケールメ リットが生かせない。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域の実情に合わせた生活排水処理方式として、公共下水道で整備した管 路施設を維持管理する事業である。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H1実績評価)
不明浸入水の防止対策や管路清掃延長の増など前回評価からの課題の改善はなく、引き続き問題意識を持つ必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

管路管理延長約102kmのうち、年間約13km程度の清掃しか行っていない。また、不明水対策にあってはほとんど行っていない状況である。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H1実績評価)
計画的に不明水対策、管路清掃を実施していく必要がある。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	不明水対策、管路清掃については、管渠清掃業務等予算が不十分なことから対応が遅れている状況にあり、もっと計画的な対策を講じる必要がある。	所属長評価	不明水対策、管路清掃については、管渠清掃業務等予算が不十分なことから対応が遅れている状況にあり、もっと計画的な対策を講じる必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	都市下水道維持管理事業			事務事業コード	425-103-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	平賀悠介
	施策名	5	良好な水環境の保全	内線	334
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠	下水道法				
条例・要綱等	新庄市下水道条例、同条例施行規則				
予算・事務事業名	一般会計	8款4項2目	都市下水道整備事業費	予算コード	01-080402-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 40 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	都市の浸水防除	事業内容	整備済み都市下水道についての機能の保持と維持及び安全対策の実施。		
対象	都市下水道				
目指す	浸水区域の雨水を速やかに排除し、安全な生活を確保する。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	都市下水道整備済み延長(m)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込																																							
	説明(算式等)		実績	10,275	10,275	10,275	10,275	10,275	10,275	10,275																																							
活動指標	指標名称	都市下水道安全点検回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画																																							
	説明(算式等)		実績	3	3	3	3	3	3	3																																							
成果指標	指標名称	都市下水道維持管理延長(m)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標																																							
	説明(算式等)		実績	10,275	10,275	10,275	10,275	10,275	10,275	10,275																																							
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																																
	都市下水道の整備状況 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>住吉川</th> <th>末広</th> <th>中の川</th> <th>三の堀</th> <th>末広第2</th> <th>緑町</th> <th>矢目田川</th> <th>福田</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整備年次</td> <td>S40~S43</td> <td>S43~S46</td> <td>S47~S52</td> <td>S47~S52</td> <td>S53~S54</td> <td>S57~S62</td> <td>S47</td> <td>S56~H14</td> <td>8路線</td> </tr> <tr> <td>排水面積 (ha)</td> <td>25</td> <td>42</td> <td>1520</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>17</td> <td>270</td> <td>119</td> <td>2,055</td> </tr> <tr> <td>整備延長 (m)</td> <td>863</td> <td>1,380</td> <td>1,460</td> <td>1,288</td> <td>553</td> <td>890</td> <td>153</td> <td>3,688</td> <td>10,275</td> </tr> </tbody> </table>										区分	住吉川	末広	中の川	三の堀	末広第2	緑町	矢目田川	福田	計	整備年次	S40~S43	S43~S46	S47~S52	S47~S52	S53~S54	S57~S62	S47	S56~H14	8路線	排水面積 (ha)	25	42	1520	31	31	17	270	119	2,055	整備延長 (m)	863	1,380	1,460	1,288	553	890	153	3,688
区分	住吉川	末広	中の川	三の堀	末広第2	緑町	矢目田川	福田	計																																								
整備年次	S40~S43	S43~S46	S47~S52	S47~S52	S53~S54	S57~S62	S47	S56~H14	8路線																																								
排水面積 (ha)	25	42	1520	31	31	17	270	119	2,055																																								
整備延長 (m)	863	1,380	1,460	1,288	553	890	153	3,688	10,275																																								
成果(どのような状態になったか)	北沢地区の雨水排水路工事完了により一定の成果を上げているが、平成30年8月の豪雨により冠水被害を受けた準用河川の矢目田川の改修が急務である。なお、矢目田川については令和2年度より事業化し整備を進めて行く。																																																

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H27	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	359	114	5,208	5,534	5,342	10,405	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	359	114	5,208	5,534	5,342	10,405	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	1,718	1,718	1,718	1,739	1,681	2,490	修繕料	452	
内訳	正規職員(人)	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.32	測量設計委託料	2,101
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	工事請負費	6,930
費用合計(①+②)	2,077	1,832	6,926	7,273	7,023	12,895	負担金	737	
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	浸水対策として、鳥越山堰の工法検討の業務委託の増額及び東山の北沢の応急工事の増による。								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	「良好な水環境の保全」として浸水防除を主とする。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	浸水(雨水排水)対策は国、自治体の責務。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	平成30年度豪雨により被害を受け改修が必要な箇所について早急な対応を 迫られている。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	必要最小限の浸水対策を実施している。今後管理者不在の水路整備の要望 が増大すると思われる。
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	水路対策検討委員会において、管理者不在の法定外水路の対策部署が区分 けされている。今後水路整備の要望が増大すると予想される。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	市管理の施設であり、連携はできない。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	同上。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	水路清掃、除草等の中で市民との協働が不可の部分については、本年度業 務委託で対応した。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H1実績評価)
平成30年度豪雨に伴う新たな水路改修の要望が提出されている。なお、要望されている準用河 川矢目田川については令和2年度より事業化し雨水排水路として整備していく。

8. 課題解決に向けた現時点における
取り組み状況

令和2年度予算において、矢目田川 の計画変更業務委託が予算措置さ れ実施する予定である。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H1実績評価)
矢目田川については、雨水排水路の計画変更が必要であり、事前に、近接工事となるJR及び、 新たな放流先である、一級河川升形川の河川管理者との事前協議を今後も進め早期完成を目 指す。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)			
所属長 評価	直営作業や地元対応で不可能な部分の修繕や除草・清掃等は、計画的 に実施できるよう予算措置を行う。昨年新たに要望された雨水排水路 の整備についても、関係機関と調整を図り、早期に実施したい。	所属長 評価	東山地区矢目田川の整備に関しては、令和2年度に事業計画の変更 に着手する目処が立った。又、豪雨対策として、鳥越地区山堰の工法検 討の業務委託及び東山地区北沢水路の応急復旧工事を実施し、豪雨 対策に努めた。		
今後の 方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, etc. Content includes '公共下水道処理場増設・改築更新事業', '社会生活基盤が整い、安全で快適なまち', '独自事業', '下水道法', '新庄市下水道条例、同条例施行規則', '公共下水道事業特別会計', '2款1項2目', '処理場建設事業費(補助)', '05-020102-0201', '平成28年度', '平成29年度', '平成30年度', '平成31年度', '令和1年度'.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 目指す. Content includes '公共用水域の水質保全及び生活環境の整備.', '浄化センター内の水処理設備・汚泥処理設備及び機器', '設備機器の老朽化に伴い水処理施設・汚泥処理施設等の設備機器の改築更新工事をし、持続可能な施設運営を実施する.', '事業内容', '実施形態'.

3. 実施状況

Table with multiple columns: 対象指標, 活動指標, 成果指標, 補足説明. Content includes '浄化センターの主要施設数(全5棟)', '事業費累計(百万円)', '処理能力(m³/日)', '浄化センター年次別事業費(下水道事業団委託分)', '工種', 'H19-H32', 'R1, R2見込, R2計画, R2目標'.

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 7 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1. Content includes '事業費', '内訳', '人件費', '費用合計', '事業費増減の理由'.

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	『良好な自然環境の保全』の公共下水道事業基幹施設である。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	公共施設として市が設置管理すべき施設であり、適切な施設運営するための 増設・改築更新事業である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	現時点で国の交付金及び市の財政状況下の中での改築・更新事業を行って いる。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	事業自体が設備機器等のライフサイクルコストの縮減を図っているものであ る。国の交付金及び市の財政状況下の中で効率的に改築・更新事業を行って いる。改築・更新にかかる資機材の高騰により削減することは難しい。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	事業計画、進行管理、現場の作業調整には人員が必要。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	処理場増設・改築更新については連携できるものではない。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	現在実施している、長寿命化計画の処理場改築・更新等は市が実施すること となっている。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	下水道法により、市が管理することとなっている施設の適正な稼働を維持する 必要がある。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H1実績評価)
国の交付金対象事業として実施できる部分以外の更新、修繕が計画的にできない状況である。

8. 課題解決に向けた現時点における
取り組み状況

H28年度に策定したストックマネジメント計画に基づいた事業は完了した。交付金対象事業以外の部分についての計画は立てているものの、突発的な修繕箇所が多発するため、優先順位を考慮し対応している。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H1実績評価)
実施予定の改築更新事業は一旦完了したが、国の交付金対象事業以外の設備なども含めて、できるだけ細部にわたる更新、修繕を実施したい。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H1実績評価)	
所属長評価	国の交付金対象事業は計画どおり進めることができた。次年度の改築更新も計画どおり実施していきたい。また、交付金対象事業では対応できない部分の老朽化が目立ってきているので、できるだけ実施できるように計画する。	所属長評価	ストマネ計画に基づくH29～H30、H30～R1の改築更新の工事委託は予定どおり完了した為、次期ストマネ計画の策定に向けた準備を行う。又、交付金対象事業では対応できない部分の老朽化が目立ってきているので、計画的な修繕を実施する。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	公共下水道管渠整備事業(汚水)			事務事業コード	425-105-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	平賀悠介
	施策名	5	良好な水環境の保全	内線	333
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠	下水道法				
条例・要綱等	新庄市下水道条例、同条例施行規則				
予算・事務事業名	公共下水道事業特別会計	2款1項2目	管渠建設事業費(汚水補助)	予算コード	05-020102-0101
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 56 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	公共用水域の水質保全及び生活環境の改善のため。	事業内容	汚水管渠の未整備地区への布設。		
対象	下水道管渠(汚水)				
目指す状態	下水道事業計画区域内の整備面積の拡大。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	下水道整備が完了し下水道利用可能となった者	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込																																																							
	説明(算式等)	整備人口	実績	19,097	19,114	19,157	19,185	18,938	21,254	22,800																																																							
活動指標	指標名称	管渠布設延長(m)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画																																																							
	説明(算式等)		実績	1,206	1,508	1,089	1,152	856	1,142																																																								
成果指標	指標名称	総整備面積(ha)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標																																																							
	説明(算式等)	H32目標は生活排水処理施設整備計画より	実績	498	503	509	524	528	532	563																																																							
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																																																
	事業計画の概要 <table border="1"> <tr> <th colspan="2">全体計画 H28年度(変更計画)</th> <th colspan="2">事業計画 H30.3.23 (計画変更)</th> </tr> <tr> <td>目標年次</td> <td>H47</td> <td>目標年次</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>計画面積</td> <td>890.2ha</td> <td>処理区域面積</td> <td>719ha</td> </tr> <tr> <td>計画人口</td> <td>20,900人</td> <td>管渠延長</td> <td>19,400m</td> </tr> <tr> <td>処理能力</td> <td>11,590m³</td> <td>計画処理量</td> <td>12,000m³</td> </tr> </table>					全体計画 H28年度(変更計画)		事業計画 H30.3.23 (計画変更)		目標年次	H47	目標年次	R4	計画面積	890.2ha	処理区域面積	719ha	計画人口	20,900人	管渠延長	19,400m	処理能力	11,590m ³	計画処理量	12,000m ³	年次別整備面積の推移 単位: ha <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> <tr> <td>整備面積</td> <td>4.19</td> <td>1.88</td> <td>8.84</td> <td>10.38</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>476.49</td> <td>478.37</td> <td>487.21</td> <td>497.59</td> <td>503.49</td> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>整備面積</td> <td>5.72</td> <td>14.32</td> <td>4.17</td> <td>4.49</td> <td></td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>509.20</td> <td>523.52</td> <td>527.69</td> <td>532.18</td> <td></td> </tr> </table>					年度	H23	H24	H25	H26	H27	整備面積	4.19	1.88	8.84	10.38	5.9	累計	476.49	478.37	487.21	497.59	503.49	年度	H28	H29	H30	R1	R2	整備面積	5.72	14.32	4.17	4.49		累計	509.20	523.52	527.69	532.18
全体計画 H28年度(変更計画)		事業計画 H30.3.23 (計画変更)																																																															
目標年次	H47	目標年次	R4																																																														
計画面積	890.2ha	処理区域面積	719ha																																																														
計画人口	20,900人	管渠延長	19,400m																																																														
処理能力	11,590m ³	計画処理量	12,000m ³																																																														
年度	H23	H24	H25	H26	H27																																																												
整備面積	4.19	1.88	8.84	10.38	5.9																																																												
累計	476.49	478.37	487.21	497.59	503.49																																																												
年度	H28	H29	H30	R1	R2																																																												
整備面積	5.72	14.32	4.17	4.49																																																													
累計	509.20	523.52	527.69	532.18																																																													
成果(どのような状態になったか)	下水道事業計画の効率的な遂行や市の振興計画の目標を達するまでの整備率には程遠いが、着実に面整備を実施している。																																																																

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	191,947	216,472	204,837	220,573	157,382	162,654	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金	89,459	107,341	101,500	110,500	77,880	80,620	社会資本整備総合交付金 (161,240) × 1/2	80,620
	県支出金							受益者負担	6,687
	受益者負担	9,730	7,142	9,940	8,938	6,080	6,687	公共下水道事業債＋一般財源	75,347
	一般財源	92,758	101,989	93,397	101,135	73,422	75,347	一般財源	
人件費・・・②	20,613	20,613	20,436	17,709	13,676	9,258	主な歳出の内訳		
内訳	正規職員(人)	2.64	2.64	2.64	2.24	1.79	1.19	工事請負費	154,306
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	その他	8,348
費用合計(①+②)	212,560	237,085	225,273	238,282	171,058	171,912			
臨時嘱託等(人)							計	162,654	
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							全体事業費の内、H30繰越明許 59,544千円		

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	「良好な水環境の保全」の公共下水道事業基幹施設である。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	公共下水道事業計画の一環として行っている。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	管渠施設整備面積を増やすことで、もっと効率的な処理場の維持管理が可能となる。
	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	コスト削減には継続して努めているが、事業費の増が計画遂行には必要。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	事業計画作成、工事発注、管理は直営で対応している。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	現時点では、可能かどうか判断出来ない状況である。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	事業計画内容について市民の審査や意見を取り入れれば、効率の良い事業遂行が可能である。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	● なっていない ○ なっている	下水道整備計画区域内において、空家・老人世帯が多くなっており、受益者の負担が大きい。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H1実績評価)
進捗スピードが遅い為、整備目標(計画)との間に差があり将来の整備計画について住民説明が明確に出来ない状況が続いている。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

財源確保が厳しい状況の中、令和2年度においても、管渠整備費を前年度並みに確保している。次年度以降も管渠整備を重点的に実施したい。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H1実績評価)
前年度並みの財源確保のもと管路整備を行い住民の要望に応じて行きたい。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	整備面積で528haが完了し、行政人口に対する普及率が53.4%となった。しかし、公共用水域の水質保全、生活環境の改善は喫緊の課題でもあり、整備面積の早期拡大が必要である。	所属長評価	整備面積で532haが完了し、行政人口に対する普及率が54.6%となった。しかし、公共用水域の水質保全、生活環境の改善は喫緊の課題でもあり、整備面積の早期拡大が必要である。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	公共下水道普及事業			事務事業コード	425-106-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	井上利夫
	施策名	5	良好な水環境の保全	内線	332
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠	下水道法				
条例・要綱等	新庄市下水道条例、同施行規則				
予算・事務事業名	公共下水道事業特別会計	1	1款1項2目	普及対策事業費	予算コード 05-010102-0100
事業期間	○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	○ 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	● 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	公共下水道への接続を推進する。	事業内容	普及推進活動 ①全国下水道の日の実施 ②下水道利用依頼文書の送付 ③下水道未接続世帯訪問 ④下水道事業に関する広報の実施		
対象	下水道供用区域内にある一般家屋、アパート、会社、工場、施設等の所有者。				
目指す状態	公共下水道への早期接続により公共水域の良好な水環境を保全する。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込	
			実績	19,097	19,114	19,157	19,185	18,938	18,845	19,200	
			達成率								
活動指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画	
			実績	331	131	346	361	360	322	150	
			達成率	220.7%	87.3%	230.7%	240.7%	240.0%	214.7%		
成果指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標	
			実績	130	125	123	103	123	122	130	
			達成率	100.0%	96.2%	94.6%	79.2%	94.6%	93.8%		
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	宅内排水工事検査件数、指定店、責任技術者登録者数の推移										
	区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	宅内排水工事検査件数	108	132	128	110	130	125	123	103	123	122
	指定店数	88	89	82	83	83	84	82	82	81	82
責任技術者登録者数	244	240	235	244	247	193	197	197	198	188	
水洗化率の推移(※平成25年度より水洗化人口の算出方式を変更したため減少した)											
公示区域内人口	18,837	18,910	19,026	18,678	19,097	19,114	19,157	19,185	18,938	18,845	
水洗化済人口	16,473	16,578	16,699	15,220	15,346	15,314	15,282	15,434	15,357	15,590	
成果(どのような状態になったか)	水洗化件数は伸びてきているものの、人口減少により水洗化済人口は減少した。引き続き普及活動を下水道工事指定店と連携しつつ、水洗化率の向上を図る。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	164	126	132	207	742	49	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金						下水道使用料	49	
	県支出金								
	受益者負担	164	126	132	207	742	49		
	その他特財								
一般財源	0	0	0	0	0	0	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	4,919	4,919	4,877	3,400	4,049	2,567	消耗品	49	
内訳	正規職員(人)	0.63	0.63	0.63	0.63	0.53	0.33		
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	5,083	5,045	5,009	3,607	4,791	2,616			
臨時嘱託等(人)	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80			
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	地上権設定費用の減								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	下水道接続者の増加により、水環境の保全に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	未接続者を対象としているため適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	接続には多額の費用が伴うため、効果がなかなか上がらない。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	殆どが人件費であり、削減の余地はない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定下水道工事店と協力し実施している。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	連携できる事業でない。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	指定下水道工事店と協力し実施しマンホールカードを作成した。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	良好な水環境のため必要な事業である。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H1実績評価)
新築や増築に伴う接続や管渠布設完了後すぐに接続するケースが増えている。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

下水道協会主催の「下水道いろいろコンクール」への斡旋や施設長寿命化のPR、マンホールカードの配布を継続する。また、水道の使用水量に応じた未接続家屋への個別訪問を継続する。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H1実績評価)
下水道普及啓蒙を図ると共に、引き続き普及活動を継続する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	普及活動の効果は着実に表れている。今後は、使用水量に応じた戸別訪問など新たな視点での普及活動により、さらなる水洗化率の向上に努める。	所属長評価	普及活動の効果は着実に表れているため、戸別訪問を中心とした普及活動により、水洗化率の向上に努める。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	利用者は少ないものの、結果がでている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	利子を補助金として支給しているため、適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	融資あっせん制度啓蒙を図る。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	利率が決まっており削減できない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定下水道工事店と連携し実施している。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	連携できる事業ではない。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	協働できる事業ではない。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	接続工事の負担を軽減している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H1実績評価)
事業説明会での制度の活用について説明しているが、指定下水道工事店との周知連携が必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

事業説明会や工事着手時等、本人や指定下水道工事店への説明を行う。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H1実績評価)
宅内排水設備の確認申請時に指定下水道工事店を通じて制度利用の有無を再確認する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	幹旋件数は微増しており、下水道接続費用の経費軽減に係る唯一の施策であるため、今後も指定下水道工事店と連携し周知を図る。	所属長評価	幹旋の需要は変わらず、下水道接続費用の経費軽減に係る唯一の施策であるため、今後も指定下水道工事店と連携し周知を図る。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

Table with project details including '事務事業名', '総合計画', '事業区分', '法令根拠', '予算・事務事業名', and '事業期間'.

2. 事務事業の概要

Table with '目的', '対象', '実施形態', and '実施状況' sections.

3. 実施状況

Table with '対象指標', '活動指標', '成果指標', '補足説明', and '成果' sections.

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

Table showing financial resources with columns for years (H26-R1) and categories like '事業費', '内訳', and '費用合計'.

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, 条例・要綱等, 予算・事務事業名, 事業期間. Content includes '公共下水道受益者負担金賦課・徴収事務' and '425-110-56'.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 実施形態. Content describes the purpose of the sewerage construction fee and the implementation status.

3. 実施状況

Table with 11 columns: 対象指標, 指標名称, 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1, R2見込. Includes a detailed '補足説明' section with a table of '受益者負担金の賦課(整備済み)面積の推移'.

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 8 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1, 事業費の算出根拠(R1). Content includes '事業費' and '内訳'.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

1. 基本事項

事務事業名	公共下水道使用料賦課・徴収事務			事務事業コード	425-111-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	井上利夫
	施策名	5	良好な水環境の保全	内線	332
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input checked="" type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	下水道法				
条例・要綱等	新庄市下水道条例、同施行規則				
予算・事務事業名	公共下水道事業特別会計	1款1項1目	一般管理事業費	予算コード	05-010101-0400
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	下水道施設の維持管理費、資本費の一部に充当するため利用者に負担してもらう。	事業内容	下水道の使用水量は、水道の使用水量を基に認定しているため、水道事業に賦課徴収事務を委託している。		
対象	公共下水道の利用者				
目指す状態	下水道施設の維持管理費、資本費の一部に充当するため利用者に負担してもらう。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	公共下水道の利用者	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	7,141	7,307	7,439	7,532	7,625	7,758	7,500
説明(算式等)	達成率									
活動指標	指標名称	公共下水道使用料賦課額(千円)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	377,815	379,345	366,820	372,629	377,977	366,113	—
説明(算式等)	達成率									
成果指標	指標名称	公共下水道使用料収納率(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	95.4	94.6	97.6	96.3	96.9	97.3	97
説明(算式等)	達成率	98.4%	97.5%	100.6%	99.3%	99.9%	100.3%			
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	収納率 = (現年度分収入合計額 / 現年度分賦課額) × 100 = 97.3%	収納率 = (356,045,617円 / 366,113,429千円) × 100 = 97.3%								
成果(どのような状態になったか)	使用料収入を管理運営費に充当することができた。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費 … ①	16,017	13,559	13,195	13,574	14,505	15,014	事業費の算出根拠(R1)		
内訳	国庫支出金						歳入の積算内訳		
	県支出金						下水道使用料	15,014	
	受益者負担	16,017	13,559	13,195	13,574	14,505	15,014		
	その他特財								
	一般財源	0	0	0	0	0	0	主な歳出の内訳	
人件費 … ②	2,967	2,967	2,942	3,004	3,209	3,345	下水道使用料徴収等事務委託料	15,014	
内訳	正規職員(人)	0.38	0.38	0.38	0.38	0.42	0.43		
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	18,984	16,526	16,137	16,578	17,714	18,359			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 基本目標, 政策名, 施策名, 事業区分, 法令根拠, 条約・要綱等, 予算・事務事業名, 事業期間. Includes details for '地方公営企業法適用事務' and '公共下水道事業特別会計'.

2. 事務事業の概要

Table with 4 columns: 目的, 対象, 目指す状態, 事業内容. Describes the purpose of maintaining sewerage infrastructure and the specific activities involved.

3. 実施状況

Table with 10 columns: 対象指標, 指標名称, 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1, R2見込. Tracks performance metrics like '汚水処理原価' and '水洗化率'.

補足説明

成果(どのような状態になったか) 公営企業法適用事務を円滑かつ効率的に進めるため新庄市下水道事業法適用基本計画を策定した。また、法適用に伴う固定資産調査等の業務を委託し実施した。

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 10 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, R1, 事業費の算出根拠(R1), 歳入の積算内訳, 主な歳出の内訳. Shows budget and actual spending for '事業費' and '人件費'.

1. 基本事項

事務事業名	農業集落排水施設管理運営事業			事務事業コード	425-201-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	松田 崇
	施策名	5	良好な水環境の保全	内線	334
事業区分	● 独自事業 ○ 法定事業 ○ 内部事業			評価区分	● 評価事業 ○ 説明事業
法令根拠	浄化槽法				
条例・要綱等	新庄市農業集落排水処理施設設置及び管理に関する条例、同条例施行規則				
予算・事務事業名	農業集落排水事業特別会計	1款1項2目	施設管理事業費	予算コード	06-010101-0100
事業期間	○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	○ 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に令和2年まで)				
	● 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 61 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	公共用水域の水質保全及び生活環境の改善。	事業内容	水質を管理し、基準値以下で放流。		
対象	処理区域内の住民(処理区域:昭和、塩野、山屋、萩野、仁田山)				
目指す状態	生活排水による公共用水域の水質汚濁の改善。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託
			<input type="checkbox"/> 補助・負担	<input type="checkbox"/> 市民協働	<input type="checkbox"/> 指定管理
			<input type="checkbox"/> 事務局	<input type="checkbox"/> その他()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	処理区域内人口(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	2,338	2,307	2,280	2,246	2,174	1,877	
	説明(算式等)		達成率							
活動指標	指標名称	定期点検回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	12	12	12	12	12	12	12
	説明(算式等)		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	12
成果指標	指標名称	水洗化率(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	84.3	85.7	85.3	85.9	85.8	89.0	90
	説明(算式等)	処理人口/排水処理区域人口	達成率	93.7%	95.2%	94.8%	95.4%	95.3%	98.9%	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	普及率等の現状					平成31年3月31日現在				
	地区名	処理戸数(戸)	処理区域内人口(人)	処理人口(人)	普及率(%)	年間汚水量(m3)	供用開始日			
	昭和地区	83(-5)	346	317	91.6%	37,471	S61.12.1			
	塩野地区	39(-2)	158	145	91.8%	32,800	S62.4.1			
	山屋地区	119(-9)	482	469	97.3%	63,206	H5.2.1			
	萩野地区	241(-45)	849	744	87.6%	184,219	H11.4.1			
	仁田山地区	75(-24)	273	202	74.0%	19,577	H13.11.15			
計	557(-31)	2,108	1,877	89.0%	337,273					
成果(どのような状態になったか)	適正な放流水質を維持することができた。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	29,143	27,232	27,659	28,113	27,538	27,888	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金						事業分担金	464	
	県支出金						使用料	20,278	
	受益者負担	20,959	20,679	20,521	20,856	20,306	手数料	18	
	その他特財	23	19		18	15	繰入金	7,128	
	一般財源	8,161	6,534	7,138	7,239	7,217	7,128	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	4,997	4,997	4,954	4,585	6,723	8,091	光熱水費	8,178	
内訳	正規職員(人)	0.64	0.64	0.64	0.58	0.88	1.04	修繕料	4,962
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780	通信運搬費(通報装置等)	351
費用合計(①+②)	34,140	32,229	32,613	32,698	34,261	35,979	施設管理業務委託料	12,615	
臨時嘱託等(人)							除排雪委託料	155	
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							他	1,095	
							計	27,356	

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	目的が「良好な水環境の保全」そのものである。
	②対象や目指す状態が適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	農業集落排水事業区域としての位置付けが確立している。
有効性	③成果の向上余地がないか	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	未接続世帯への水洗化の普及向上に努める。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	施設の老朽化がみられ、現状でも施設維持のための修繕費が不足している。
	⑤人員や実施形態は適正か	<input type="radio"/> 改善の余地がない <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある	公共下水道の使用料体系との統一化の検討が必要である。
	⑥他自治体と連携できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	現段階では有効な共同管理等の方法がない。
	⑦官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	事業の性格上、公共下水道事業と同様に、市町村で管理するのが妥当である。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	事業の性格上、公共下水道事業と同様に、市町村で管理するのが妥当である。

(ACTION) 改善

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H1実績評価)
未接続世帯の更なる水洗化の普及啓蒙が必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

計画的な施設更新・改修が出来ないため、現況では事故発生後の修繕対応となっている。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H1実績評価)
令和2年度農業集落排水施設(5施設)の機能診断及び最適整備構想策定を実施する。 月の予定表を立て、下水道普及員との未接続世帯への普及強化を行なう(特に、萩野・仁田山地区)。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(R1実績評価)	
所属長評価	効率的な施設管理とともに使用料の一元化に向けた取り組みを行う。また、施設の老朽化に伴う計画的な修繕により施設の延命化を図る必要がある。萩野、仁田山地区の普及率が依然低位にあるため、普及率向上が必要である。	所属長評価	令和2年度に実施される、機能診断及び最適整備構想の策定により、今後施設の老朽化に伴う計画的な修繕により施設の延命化を図って行く必要がある。又、農業集落排水が低位にある萩野、仁田山地区の普及については、普及活動を実施する。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	合併処理浄化槽設置整備事業			事務事業コード	425-301-34
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	伊藤 悠
	施策名	5	良好な水環境の保全	内線	332
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠	浄化槽法				
条例・要綱等	循環型社会形成推進交付金、新庄市合併処理浄化槽設置整備事業費補助金交付規程、平成31年度新庄市浄化槽整備促進事業費補助金				
予算・事務事業名	一般会計	4款2項1目	し尿・浄化槽事業費	予算コード	01-040201-0100
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	● 期間限定		始期 H23 年度 ~ 終期 R2 年度	(独自事業は基本的に令和2年まで)	
	○ 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 年度 ~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	生活雑排水を処理せず放流する単独処理浄化槽や汲み取り式トイレから、合併処理浄化槽への切り替えを推進することで水質改善を図る。	事業内容	合併処理浄化槽の設置に要する費用に対し、人槽区分により補助金を交付する。 (制度概要は中段の補足説明参照)		
対象	自ら居住するための住宅(併用住宅を含む)に合併処理浄化槽を設置する者。				
目指す状態	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、公衆衛生の向上と生活環境の保全を図る。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	公共下水道及び農業集落排水事業計画区域以外の人口	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2見込
			実績	1,556	1,522	9,682	9,460	9,336	10,563	10,627
説明(算式等)	浄化槽整備区域内人口	達成率								
活動指標	指標名称	5か年間における合併処理浄化槽設置整備事業補助金申請件数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2計画
			実績	45	125	169	213	260	298	300
説明(算式等)	累積	達成率	15.0%	41.6%	56.3%	71.0%	86.7%	99.3%		
成果指標	指標名称	5か年間における合併処理浄化槽設置基数に対する使用人数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2目標
			実績	190	512	692	876	1,070	1,213	1,050
説明(算式等)	累積	達成率	18.0%	30.6%	65.9%	83.4%	101.9%	115.5%		
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	1 補助対象地域：新庄市公共下水道事業計画区域及び新庄市農業集落排水処理施設計画区域以外の新庄市全域とする。但し、新庄市公共下水道事業計画区域及び新庄市農業集落排水処理施設計画区域内であっても、当分の間(原則7年間)整備実施予定のない区域については、補助対象地域とする。									
	2 補助対象者：自ら居住するための住宅(併用住宅を含む)に合併処理浄化槽を設置する者とする。他要件有。									
	3 補助金の額：5人槽 限度額 352,000円(改築の場合は402,000円) 6~7人槽 限度額 441,000円(改築の場合は506,000円) 8~10人槽 限度額 588,000円(改築の場合は653,000円)									
	4 補助金加算：単独処理浄化槽または汲み取り式トイレから合併処理浄化槽に切り替える際、新庄市浄化槽整備促進事業費補助金として5人槽の場合上限210,000円、6~7人槽以上の場合上限265,000円を加算する。また、令和元年度より単独浄化槽からの切り替え、配管工事費に係る費用として上限30万円を加算する。									
成果(どのような状態になったか)	生活排水による公共用水域の水質改善が図られ、公衆衛生の向上と生活環境を保全することができた。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	事業費の算出根拠(R1)		
事業費・・・①	23,648	18,943	23,598	24,226	26,137	21,117	歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金	6,418	3,920	6,460	5,294	6,019	7,354	循環型社会形成推進交付金	7,354
	県支出金	5,864	5,149	7,000	5,902	6,580	5,722	山形県浄化槽整備促進事業費補助金	5,722
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	11,366	9,874	10,138	13,030	13,538	8,041	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	2,342	2,186	2,555	1,344	3,209	2,101	新庄市合併処理浄化槽設置整備事業費補助金	15,395	
内訳	正規職員(人)	0.30	0.28	0.33	0.17	0.42	0.27	新庄市浄化槽整備促進事業費補助金	5,722
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,906	7,640	7,780		
費用合計(①+②)	25,990	21,129	26,153	25,570	29,346	23,218			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	浄化槽設置工事費を補助することにより浄化槽設置時の住民の経済的負担を軽減し、良好な水環境を保全している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	浄化槽を設置し、生活排水を浄化し、水環境を改善することにより清潔な生活環境を維持するために適切である。
有効性	③成果の向上余地がないか	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	浄化槽の必要性や補助金制度について、ホームページなどよりわかりやすい広報に努めていく。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	事業費は個人に対する浄化槽設置工事費の補助金であり、予算の範囲内で適正に助成されている。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	浄化槽設置工事費を補助することにより、生活排水の適正な処理に結び付いている。
	⑥他自治体と連携できる か	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	事業の性格上連携できないが、県とはかさ上げ制度で連携している。
	⑦官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	補助事業であり官民協働はできないが、浄化槽設置事業者の理解を得ながら事業推進を図っている。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	合併処理浄化槽設置事業により、水洗化率は年々上がっている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価 (R1実績評価)
公共下水道事業計画区域及び農業集落排水処理計画区域以外の地域の生活排水の処理は合併処理浄化槽への転換を促進しなければならない。 そのため国の循環型社会形成推進交付金と県補助金を活用した合併処理浄化槽設置整備事業等の周知を図りながら事業の推進を図る。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

・合併処理浄化槽についての市報・衛連だより等による広報を行う。 ・平成28年度から県の新制度として単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換(リフォームに限り)する場合、県のかさ上げ制度を導入した。 ・令和元年度から、単独転換における配管工事費助成(上限30万円 国1/3市1/2)を導入した。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価 (R1実績評価)
浄化槽設置届出及び調書の手続き、補助金の申請についてホームページに掲載することにより、合併処理浄化槽設置による生活雑排水処理施設整備の手続きの簡素化と広報周知に努めている。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価 (R1実績評価)	
所属長評価	補助金の事業が周知され、住民の利用が定着してきており、環境保全に向け継続した事業実施が必要である。	所属長評価	補助金の事業が周知され、住民の利用が定着してきている。R1からの単独転換に係る助成のPRを進め、環境保全に向けた事業実施が必要である。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

Table with columns for project name (尿・浄化槽事業), code (425-302-34), objectives (社会生活基盤が整い、安全で快適なまち), and other details like budget and period.

2. 事務事業の概要

Table detailing the purpose (生活雑排水を処理せず放流する単独処理浄化槽...), targets, status, and implementation status (市直営, 全部委託, etc.).

3. 実施状況

Table showing performance indicators (e.g., 新庄市内の浄化槽設置基数) with data for years H26 to R1, and a detailed supplementary explanation (補足説明) regarding the number of units and management changes.

4. 投入資源

(単位:千円)

Table detailing financial resources (事業費) and personnel (人件費) for the project, broken down by year and category.

(DO) 実行